

平成 29 年度事業計画

1 基本方針

国内経済が緩やかに回復基調に推移する中、徳之島においても基幹産業である農業にあつては、さとうきびの豊作、馬鈴薯や子牛価格は高値を維持し、明るい兆しが見えてきました。

さらに世界自然遺産登録も現実化されつつあり、シルバー人材センターとしても何かしら参画できないものかと期待されるところです。

さて、少子高齢化が急速に進展する中で「一億総活躍社会」の実現が望まれており、シルバー人材センターはその受け皿として果たすべき役割は益々重要となっています。

シルバー人材センターの財源である国庫補助金が派遣事業に重きを置いている現在、当センターにおいては順調に目標値を達成していることを町当局に理解してもらい、寛大なる配慮によって町補助金の大幅増額となりました。

しかしながら補助金に甘んずることなく、健全な運営を行っていくために、従来の受託事業はもとより、労働者派遣業にも積極的に取り組みながら、独自事業として、向春草栽培や季節野菜の育苗・販売、会員手作りの木工品・竹細工・パッチワークなどの展示即売等に取り組んで参ります。

本年も基本理念である「自主・自立・共同・共助」を再認識し、会員・役職員が一体となって最重要課題とする「安全・適正就業」を更に推進するとともに、各種講習会・研修会を通じて技能のスキルアップとマナー等の向上を図り、会員ファーストを第一に考え、公益法人として地域社会に密着した魅力あるセンターづくりに努めて参ります。

2 事業項目

- (1) 基本理念の周知及び組織の強化
- (2) 就業機会の拡大並びに会員拡大の推進
- (3) 安全就業及び交通安全の推進
- (4) ボランティア活動による地域社会への貢献
- (5) 一般労働者派遣事業の推進

3 実施計画

- (1) 基本理念の周知及び組織の強化
 - ① 役職員・会員は常に基本理念を遵守し、会員主体の自主的運営体制の確立に取り組む、会員の意識改革を図る。
 - ② 事務局職員の機能向上は不可欠であり、各種研修会に参加し自己研鑽に努め、資質向上を図り、会員並びに発注者のあらゆる要望に対応出来る事務局体制を構築する。

(2) 就業機会の拡大並びに会員拡大の推進

- ① 町広報誌やホームページの活用により普及啓発活動を積極的に展開する。
- ② 独自事業など趣味を生かせる分野での活動ができることを呼びかける。
- ③ 会員自らの企画、実行による独自事業の推進を図る。
- ④ 地域公共団体の主催するイベント等に積極的に参加し、情報発信する。

(3) 安全就業及び交通安全の推進

- ① 安全就業は最優先課題であり、事故防止の施策を積極的に見極め傷害、賠償事故ともにゼロを目指す。
- ② 安全就業・基準の遵守とあわせ、講習会や安全パトロール等を実施し、安全意識の浸透を図る。

(4) ボランティア活動の推進

- ① 普及啓発月間における広報活動やボランティア作業を実施し、地域社会に喜ばれ、親しまれるセンターづくりに努める。
- ② ボランティア活動を通じ、会員相互の連帯意識の向上を図る。

(5) 労働者派遣事業の推進

- ① 鹿児島県シルバー人材センター連合会が実施する一般労働者派遣事業所として、高齢者の多様な働きに応じた就業機会の確保、提供に努める。
- ② 請負事業との棲み分けによる派遣事業の推進を図る。

平成 29 年度努力目標

配分金	3 千 780 万円
会員数	180 名
就業延人数	9 千人

主な行事予定

4 月	安全対策委員会
5 月	平成 28 年度定時総会
6 月	刈払機講習会
9 月	レクリエーション 安全対策委員会
10 月	シルバーの日・ボランティア作業
11 月	剪定講習会
12 月	会員忘年会
1 月	安全対策委員会